

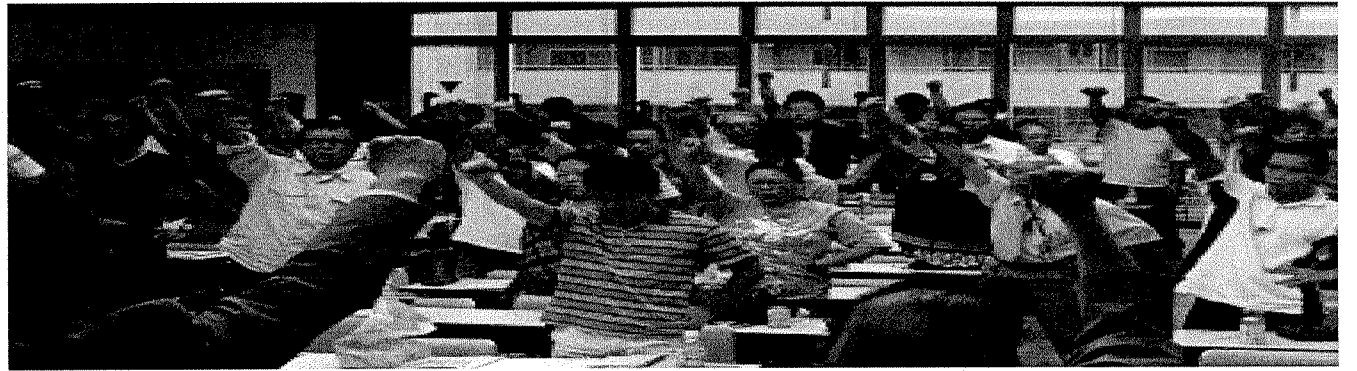
NO. 115

発行：高知県労連書記局

E-mail kochikenroren@fm2.seikyoku.ne.jp

http://www.minken-net.com/kouchikenroren/top.htm

2009年10月13日



県労連・第22回定期大会

地域運動と組織の拡大を目指してより前進を！

高知県労連は9月13日に第22回定期大会を高知市内で開催しました。大会には、役員、代議員など約90名が参加しました。大会には全労連から今井文夫国民運動局長、日本共産党高知県委員会から笹岡優さん、革新懇から山本忠智さんらが来賓として参加してください、挨拶をしていただきました。

高橋委員長が開会あいさつで政権交代下での労働運動の役割の重要性について触れ、田口書記長が運動方針案を提案しました。

方針では運動の柱として、第1に全労連が提起する「憲法闘争の3つの柱」を運動の基調に据える、第2に地域再生や若者雇用など県政課題と真正面に向き合い県労連の社会的存在を大きくする、第3に「職場」と「地域」に足をしっかりとつけ、「反貧困、地域を守る存在感のある運動を職場と地域で展開す

早い回復などを決定しました。この1年間で8件の争議が勝利的に解決しました。現在闘っている高知一般、通信労組、福祉保育労の仲間を紹介し、激励しました。

組織拡大では労働相談センターを専任化し、187件の相談を受け付け、問題解決をし、組織拡大を前進させた報告がされました。この間の「組合作り型」相談活動の成果で

あり、今後は更に「一人から組織」への取組みを強化することが確認されました。また、政権交代などの情勢を踏まえ、「労働者派遣法の抜本改正、後期高齢者医療制度の廃止、生活保護の母子加算の復活、障害者自立支援法の

ユニオンセミナーを開催

高知県労連は10月3日、4日と「09ユニオンセミナー」を宇佐の国民宿舎土佐で開催しました。青年部との共催で、セミナーという形では初めての開催です。2日間で40人を超える組合員が参加しました。

セミナーでは、埼玉労働組合連合会（埼玉連）議長の高橋啓さん

あり、今後は更に「一人から組織」への取組みを強化することが確認されました。

また、田口書記長が「10月12月の組織拡大月間の具体的方針（案）」を提起し、討

議しました。提案された1、県労連の組織拡大の推進体制、2、量的拡大、3、質的強化の3つの柱を中心に活発な意見が交わされました。2日目は、県労連青年部による別企画が行われ、青年の実態や労働組合の成り立ちなどを交流し合い、「間口は広く、明るく楽しい青年部」という青年部としての運動の確認をしてセミナーを終了しました。

役員紹介

執行委員長

西山 潤 (高知県教組)

副執行委員長

樫原 正彦 (県労連執行委員会)

畑山 佳代 (高教組)

岡原 孝 (県国公)

杉村 浩司 (高知自治労連)

書記長

田口 朝光 (県労連執行委員会)

書記次長

金子 竜太 (県医労連)

執行委員

藤崎 豊 (県教組)

八木 敬三郎 (県教組)

守屋 文貴 (県国公)

千崎 尚志 (特殊製鋼所労組)

上村 隆敏 (年金者組合)

越智 篤史 (高教組)

杉内 茂春 (県医労連)

山崎 圭司 (高知一般)

山下 のりとし (福祉保育労組)

草野 耕一 (こうち生協労組)

武田 孝子 (建交労高知県本部)

筒井 典子 (高知自治労連)

溝淵 博生 (高知自治労連)

会計監査

吉岡 太史 (高教組)

砂田 紳一 (私学教組)

小澤 幸次郎 (年金者組合)

新たな役員を決定し、一層努力して参ります。今後とも宜しくお願ひ致します。

高知県労連

結成20周年記念レセプション

日時 10月30日(金) 午後6時～

場所 高知城ホール4階

会費 5,000円

連絡先 高知市丸ノ内2-1-10

高知城ホール3F

電話 088-872-3406

皆様もぜひご参加下さい！！